

第3回 8月22日(火)

今回のテーマ：「道具を使ってやる気を高める～トークンエコノミーの誤解とコツを中心に～

本日の講座のポイント…

- ① 行動を増やす原則
- ② トークンエコノミーのポイント
- ③ トークンエコノミーを使った介入事例

1 行動を増やすための原則

- 報酬はすぐに！ ○相手が望む結果 ○強化かどうかは結果次第
でも…なかなかすぐにはできない → トークンはタイミングをずらせる
トークンは強化子のバリエーション

2 シールをトークンにするための条件

- ① 他のものと交換できること
- ② その子にとって、好ましいものとシールが交換できる体験
→直接あるいは見聞きすることが必要 例)好きな時間、物や特権
- ③ 欲しいもの(こと)とシールが交換できる体験が継続していること
- ④ 報酬をもらえるまでにタイムラグがあっても、「きっと、もらえる」と予感・予測できること

3 トークンエコノミーが失敗しないために…

- ① 前借りも借金もさせない(先に与えない)
- ② ハードルが高すぎることを約束しない
- ③ 子どもにとって嬉しいこと
- ④途中でやめない
- ⑤ 多様な選択肢がある
- ⑥ インフレーションさせる
- ⑦ 何をすれば、どんな報酬が得られるか、明確にすること

4 やってはいけないこと…

- ① 当たり前ができるようになったことに報酬を与えないこと
- ② 権利に制限を加えること

【演習】

トークンエコノミーの失敗事例

失敗事例から改善策を見いだす

☆やる気のない子をどうしたらやる気にさせられるか…



◎受講者の声…

- ・ 「楽しくなくてもやる気になる」ということに驚きました。トークンエコノミーに関して自分で考えたり、グループワークを行ったりと頭をフル回転させながら学ぶことができました。
- ・ 行動分析学の話になるほどと納得した。トークンエコノミーを上手に使うことで学級を盛り上げていきたいと思った。
- ・ 今まで報酬を与えることはマイナスイメージで、あげてはいたけれど後ろめたさがありましたが、今日の講義を受けうまく使えば報酬を活用できることを知りました。
- ・ 報酬を与えてやる気を出させることは良くないと思っていたが、前提条件や実施方法に気を配れば効果を発揮することが分かり、少しずつ取り入れたいと思った。